

方針・計画

明治グループは、自らの事業が豊かな自然の恵みの上に成り立っていることを認識し、持続可能な社会の実現に貢献していきます。この環境理念のもとに明治グループ環境方針を策定し、事業活動から生じる環境負荷の低減を図るとともに、環境との調和や自然との共生に努めた企業経営を実践しています。

WEB 明治グループ環境方針 https://www.meiji.com/csr/policy/#policy01_04

環境マネジメント体制

食品セグメントと医薬品セグメントの環境担当者と明治ホールディングス(株)のCSR担当者からなるグループ環境会議を設置しています。この体制のもと、グループ共通の長期ビジョンの策定や具体的な施策の立案、リスク管理を行い、グループ全体で環境マネジメントを推進しています。



脱炭素社会

主に貢献するSDGs



CO₂ 排出量削減による温暖化対策は、いまや企業にとって必須の活動です。その責任を全うするべく、「明治グループCSR2026ビジョン」において2030年度までの長期目標を設定しました。これに基づいて事業活動のあらゆる段階で省エネルギーを図るさまざまな施策を立案・実行し、脱炭素社会の実現に貢献していきます。

再生可能エネルギー導入への取り組み

太陽光発電などの再生可能エネルギーの活用は、地球温暖化の防止に大きく貢献します。明治グループでは現在、食品セグメントの大阪工場や愛知工場、米国におけるメイジ・アメリカのサンタアナ工場において大規模な太陽光パネルを設置し、再生可能エネルギーの活用を図っています。今後も国内外の拠点で再生可能エネルギー用の発電設備の導入拡大を計画しています。



(株) 明治 大阪工場



メイジ・アメリカ サンタアナ工場

2018年度CO₂排出量実績

	国内	海外
 Scope1	22.8 万t-CO ₂ <input checked="" type="checkbox"/>	3.5 万t-CO ₂
 Scope2	28.2 万t-CO ₂ <input checked="" type="checkbox"/>	8.6 万t-CO ₂
 Scope3	318.9 万t-CO ₂ <input checked="" type="checkbox"/>	
	※ うちカテゴリ1 243.7 万t-CO ₂ <input checked="" type="checkbox"/>	

(国内)

Scope1, 2は地球温暖化対策の推進に関する法律に基づき算定しています。集計対象範囲はP77に記載しています。

Scope3はサプライチェーンを通じた温室効果ガス排出量算定に関する基本ガイドラインに基づき算出しています。

Scope3集計対象カテゴリ：1. 購入した製品・サービス、2. 資本財、3.Scope1, 2に含まれない燃料及びエネルギー関連活動、4. 輸送、配送(上流)、5. 事業活動から出る廃棄物、6. 出張、7. 雇用者の通勤、9. 輸送、配送(下流)、12. 販売した製品の廃棄

カテゴリ1：食品事業及び医薬品事業に関わる主要原材料、包装資材(紙、プラスチック、段ボール)の購入金額に排出原単位*を乗じて算出。

* サプライチェーンを通じた組織の温室効果ガス排出等の算定のための排出原単位データベース(Ver.2.4)

(海外)

海外生産系12工場を集計しています。Scope1は地球温暖化対策の推進に関する法律に基づく排出係数を利用し、Scope2はIEA、Emissions from Fuel Combustionの排出係数を利用しています。

の付された数値は第三者保証を受けています。